

## 米国シンクタンク研究者を招聘

### —新たな国際環境における日米協力のあり方を議論—

2024年3月4日～8日

参加者：イヌ・マナク 外交問題評議会 研究員

アダム・P・リフ ブルッキングス研究所 東アジア政策研究センター上級研究員

マーティン・チョルゼンパ ピーターソン国際経済研究所 上級研究員



左からリフ氏、チョルゼンパ氏、マナク氏、前嶋氏

経済広報センターは3月4～8日、「米国シンクタンク研究者招聘プログラム」を実施した。同プログラムは、米国のシンクタンク研究者を招聘し、日本の政財界の要人らとの面談を通じて日米の相互理解を深めることを目的に、1999年から実施している。

2023年度は、ピーターソン国際経済研究所（PIIE）のマーティン・チョルゼンパ上級研究員、ブルッキングス研究所のアダム・P・リフ上級研究員、外交問題評議会のイヌ・マナク研究員の3人を招聘。河野太郎デジタル大臣や泉健太立憲民主党代表をはじめ政界関係者、三菱総合研究所の平井康光副社長をはじめ財界関係者との面談等を実施し、米中問題、経済安全保障問題等について活発に意見交換した。

最終日には、会員企業の経済安全保障担当者ら約80人の参加を得て、21世紀政策研究所と「新たな国際環境における日米協力のあり方～経済安全保障を踏まえて」と題するシンポジウムを共催した。冒頭、同プログラムの初回で招聘したアダム・ポーゼンPIIE所長が、米国大統領選挙を踏まえた米国の政治経済見通しについてビデオ講演を行った。続いて、21世紀政策研究所研究副主幹の前嶋和弘上智大学教授をモデレーターとするパネルディスカッションを実施。今回の訪問の成果や、米中関係の見通し、さらには経済安全保障を踏まえた日米協力のあり方などについて活発に意見交換した。

以上

一般財団法人

## 経済広報センター

国際広報部

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館19階

電話：03-6741-0031

<https://www.kkc.or.jp/>

<https://en.kkc.or.jp/>

※本稿の無断転載を禁じます。